

学校 教育 目標	【か】よく考え 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子
	【か】 自らすすんで問題を見つけ、よく考えて判断して行動し、豊かに表現できる子どもを育てます。(知)
	【な】 自分や他者のよさを認め合い、個性を発揮しながら他者と豊かにかかわり合う子どもを育てます。(徳)
	【が】 自分の心と体に関心をもち、すすんで健康保持に努めるとともに、体力の向上を目指す子どもを育てます。(体)
【わ】 自分が住む神奈川の「まち」について理解を深め、「まち」とともに育ち「まち」に貢献する子どもを育てます。(公)	
	多様な文化やひとの存在を理解し、視野を広げて共によりよく生きようとする子どもを育てます。(開)

学校概要	創立 151 周年	学校長 足立 渉	副校長 齋藤 惇	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 5
	児童生徒数: 294 人	主な関係校: 浦島丘中学校、子安小学校、浦島小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
粘り強く考え、学び続ける力 言葉のつながりを大切にする力 健康な心と体	浦島丘中 神奈川小 子安小 浦島小	人とのつながりを大切にし、粘り強く社会を生きぬく子 「人と人とのつながりを豊かにする社会性」、「課題解決能力」、「創造力と発信力」の3つの共通理解をもとに「ねばり強く社会を行く抜く子」を目指す。 具体的には、年間2回の小中合同授業研究会を通して9年間で育てる子ども像の意識を共有する。また、年間3回の中学校ブロック担当者会において、教育方針を調整する。さらに、児童生徒交流日を設定して児童生徒の小中接続意識化を図る。

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども一人ひとりの思いを大切にしたい授業を通して、主体的な学び・活動を充実させます。 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで問題を見つけ、粘り強く考え、判断して行動する力を高めます。 ・物事や情報をじっくり考え、疑問をもち、物事を多面的に考える力をつけていきます。 ○自分の考え、思いを伝え合い、相手の立場や個性を尊重しながらコミュニケーションを図る力を育成します。 <ul style="list-style-type: none"> ・相手に対する適切な接し方や挨拶に対する意識を高めます。 ○心身の健康保持に努める意識を高め、よい生活習慣を身につけられるようにします。 <ul style="list-style-type: none"> ・個々のペースの変化も活用しながら、自分の価値や能力を認め、自信をもって行動できる力を高めます。 ○まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。 ・創立151年の歴史あるまちとのつながりを大切にしたい学びを増やし、3年間で「かなっ子」であることを誇りに思いながら楽しく学校生活が送れるようにします。
----------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①単年で育成する資質・能力を明確にし、子ども自ら課題を見出し、解決できるような授業づくりをする。AI等を活用し、授業準備する。②自分の考えを言葉で伝えることを大切にするために、関わり伝え合う場を設定し価値付ける。③チーム学年で授業改善に努める。
徳	人権教育	①YPの年間の計画をもとに、見通しをもって学級の実態に合ったYPプログラムの実施をする。②地域の様々な人と関わり学ぶ中で、自ら挨拶の大切さに気づき、相手意識のある活動を充実させる。行事、総合的な学習の時間を各教科と関連させるなど、自ら相手や地域の人々と関わりをもち、周りに支えられていることに気づけるようにする。
体	健康教育	①健やかな体を育成するために全校で「レッツ体力アップ」を実践していく。成長を実感でき、主体的に取り組めるカードを用意し、「短縄」「持久走」に取り組む。「できた」「もっとやりたい」と、自らの意識を高めていく取組を目指す。②児童自らが考え行動できる学校保健委員会を運営する。
公開	まちとの協働	①まちとのつながりと関連させながら、これまでの材を活用し、各学年の発達段階に応じて地域とつながる体験的な学習活動に取り組む。②子どもが地域とつながり、地域の中で学び成長しているという実感がもてるように、地域行事への参加を推進したり、地域との関わりを視える化したりする。
いじめへの対応		①アンケートや面談を計画的に実施したり、各学級の実態に応じてYPIに取り組んだりすることで、いじめの未然防止の視点で学校・学級づくりを行う。②いじめ防止基本方針について、研修や発信をしていくことで教職員・保護者・地域の理解を深め、協働していじめの未然防止や対応ができるようにする。また、随時児童の声を取り上げる機会をもつ。
人材育成・組織運営(働き方)		①皆で人材育成する風土を大切にする。②開かれたメンター研を目指し、メンター以外の職員も学び合うことができる場にする。③教務・ミドルのメンバーを中心に学校行事の内容や働き方の課題意識を共有し、よりよい学校運営が進められるようにする。
児童指導		①「かなっ子のきまり」を実態やニーズ、子どもからの声に応じて柔軟に編集し、教師・子ども・保護者の間で共有していく。②いじめ防止対策委員会などで児童に関する情報を共有し、アンテナを高くスピード感をもって対応していく。③学校だより・学年だよりやSNSで学校の取組を発信し、学校、家庭、まちが一体となって児童を見守る。
特別支援教育		①特別支援コーディネーターを中心に、一般学級でも特別支援の視点をもって指導・支援ができるよう、情報発信・研修等を充実させる。②学校・本人・家庭が同じ方向を向いて学習・生活ができるよう、個別的教育支援計画・指導計画を活用し、それぞれの児童につけたい力や支援を明確にする。③たけのこ教室の機能の充実を図る。
安全管理		①地震や火災などの緊急時を想定した訓練を計画・実施し、児童や教職員が安全管理のための適切な行動をとれるようにする。②不祥事も含め、危機意識を高め、アンテナ高く学校全体を見ていくための研修を計画的に取り組む。
		b10